

時事ネタ

積極財政は日本を救う？

K G U

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

マンデル＝フレミングモデル

KGU

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

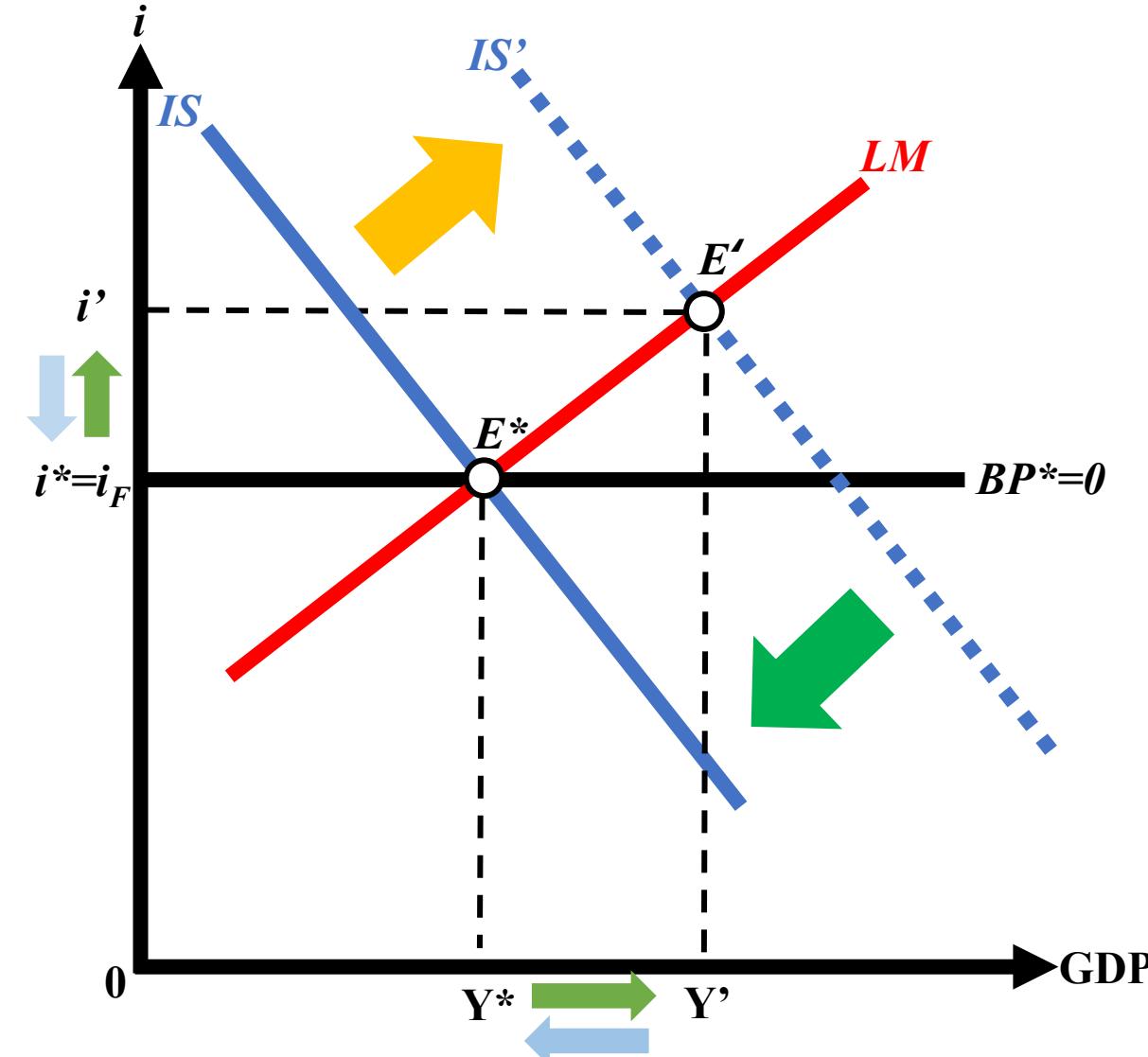


片岡剛士 (Goushi Kataoka)

∅ ...

「規律ある積極財政」という話についてはよくわからない所もあります。ただし積極財政を行う事になれば、それは名目金利上昇を通じ円高要因となる。そして財政支出拡大は消費や投資といった内需を高める事で、現在のインフレ率上昇をコストプッシュではなくディマンドプルに変える影響にもつながる。

- ①当初、経済は E^* で均衡（GDPは Y^* の水準、利子率 i^* は世界利子率 i_F と同水準）。
- ②財政出動が行われると、IS曲線は上方にシフト（ IS' ）し、均衡点は E' となる（GDPは Y' の水準、利子率 i^* は世界利子率 i_F から乖離し i' へと上昇）。
- ③国内の利子率が世界利子率より高くなつたため、日本国内で資産運用するため外国から資本が流入する。その結果、円高になる。
- ④円高になるため輸出が減少。その結果、需要が減少するため、 IS' 曲線は元の位置（ IS ）に戻る。
- ⑤結局、GDPは元の水準に戻り、利子率も元の世界利子率の水準に戻る。為替レートだけが自国通貨高（円高）になつた状態で落ち着く。



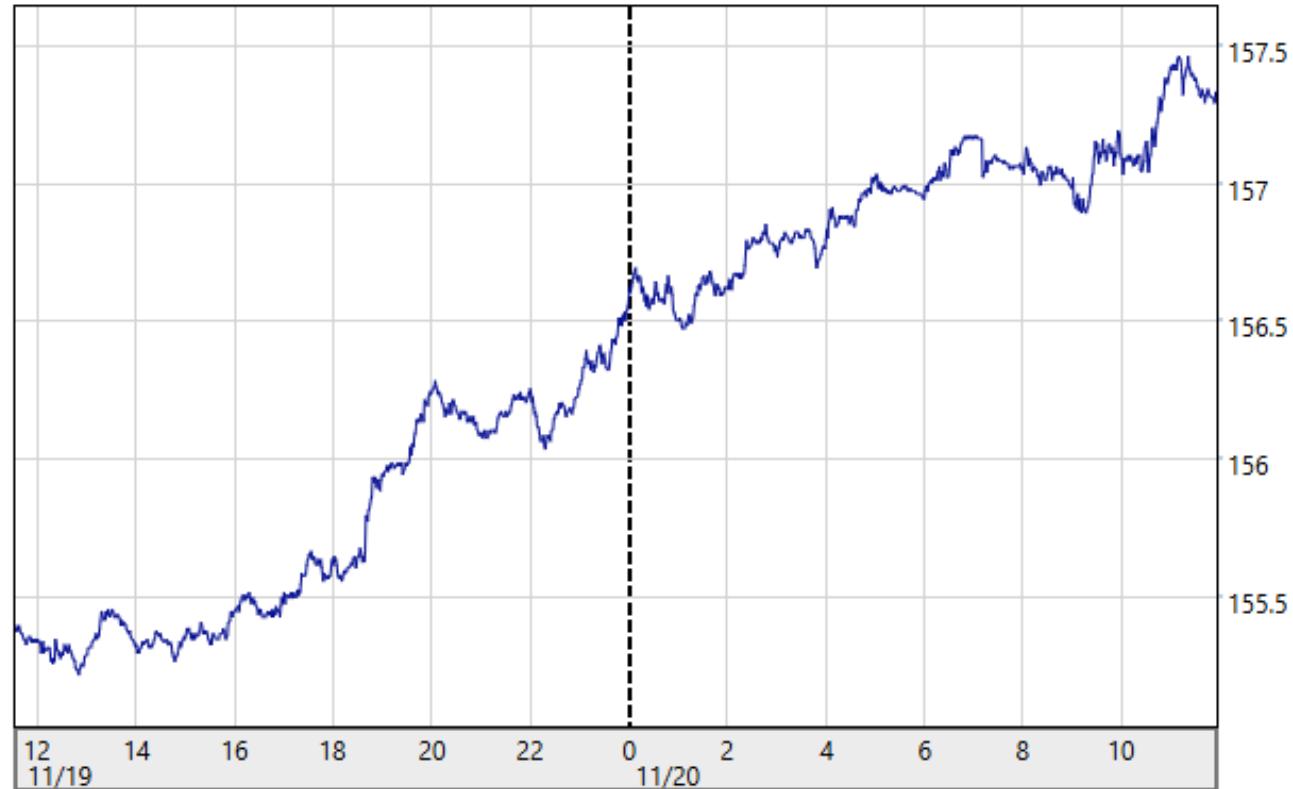
円相場の推移

ドル円相場

157.32 - 157.34 (20日 11:56) +1.81 (+1.16%) (単位:円)

日時: 2025/11/20 4:24

現値: 156.88



表示期間 1日 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 5年

*縦軸は円、横軸は期間を示す

■現実の円ドル相場は円安で推移。想定とは異なる。なぜ？

■利子率の構成 : $i=r+\pi+\rho$

i :名目利子率、 r :実質利子率、 π :インフレ率、 ρ :リスクプレミアム

■リスクプレミアムとは、リスクのある資産（株式や社債など）に投資する際に、投資家がリスクを負うことへの対価として要求する追加の収益。

■つまり、巨額の債務残高を抱える日本政府が積極財政を行うことで投資家が財政リスクを織り込めば、リスクプレミアムは上昇し、インフレリスクと相まって利子率は上昇する（悪い利子率上昇）。同時に、円の信認も低下し、利子率は上昇しても円は円安になる。

(おまけ) なぜリフレ派は異次元の金融緩和を主張したのか？

- ①金融緩和を行うと、LM曲線は下方にシフトし LM' の位置へ。均衡は E^* から E' へ（GDPは Y' の水準、利子率 i^* は世界利子率 i_F から乖離し i' へと下落）。
- ②国内の利子率 i' が世界利子率 i_F より低くなつたため、外国で資産運用するため日本から資本が流出する。その結果、円安になる。
- ③円安になるため輸出が増加。その結果、需要が増加するため、IS曲線は上方にシフトし IS' となる。
- ④新しい均衡は E'' 点となり、GDPは Y'' の水準に増加、利子率は元の世界利子率の水準に戻る。為替レートは自国通貨安（円安）になつた状態で落ち着く。

